2020年9月9日

各　位

会 社 名　株式会社サイバーセキュリティクラウド
代表者名　代表取締役社長　　大野　暉
（コード番号：4493　東証マザーズ）
問合せ先　取締役経営管理本部長　　倉田雅史
（TEL.03-6416-9996）

（差替）＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時	2020年8月24日 19：00～20：00
開催方法	オンラインによるライブ配信 視聴者からチャットにて質問を受け付け、回答を実施
開催場所	東京都港区六本木一丁目６番１号 泉ガーデンタワー22 階
説明会資料名	個人投資家向け会社説明資料

【添付資料】

１．2020年12月期 第２四半期決算説明会資料

※この書面（添付資料を含む。）は、有価証券上場規程施行規則第４２７条に基づき、公衆縦覧に供されます。

※2020年8月25日に公表いたしました「2020年12月期第２四半期 投資に関する説明会資料」のP39で使用していた画像について、一部修正する必要が生じたため、別添のとおり改めてご提示致します。なお、その他の記載内容に変更はございません。

以 上



株式会社サイバーセキュリティクラウド

東証マザーズ市場：4493

2020年8月14日

目次

Ⅰ. 事業の内容	3
Ⅱ. 新型コロナウイルス感染拡大に関して	14
Ⅲ. 2020年12月期 第2四半期 決算概要	19
Ⅳ. サービス別実績	28
Ⅴ. 今後の成長戦略	34
Ⅵ. 参考資料	41

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

Ⅰ．事業の内容

企業理念

世界中の人々が安心安全に使える サイバー空間を創造する。

サイバーセキュリティ

×

AI（人工知能）

攻撃遮断くん

Webサイトへの
サイバー攻撃の可視
化・遮断ツール

Waf Charm

AIによるAWS WAF
ルール自動運用ツール

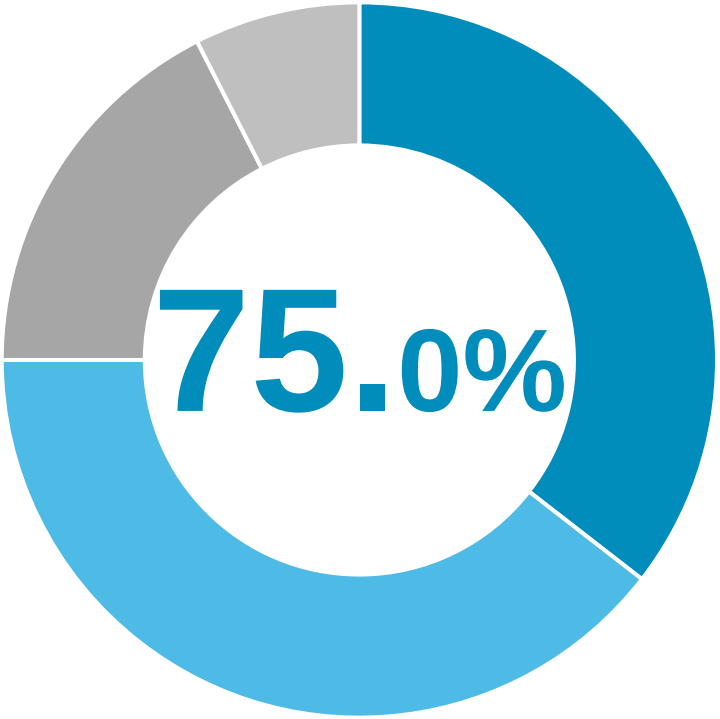
AWS WAF
Managed Rules

AWS WAFの
ルールセット

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

経営層600人に聞く最新セキュリティ対策調査※ ❶

Q1 企業経営において、サイバーセキュリティを経営リスクと考えていますか。



【n=600】

経営層全体の75%が サイバーセキュリティを 経営リスクと考えている

■そう考えている
■どちらかといえばそう考えている
■あまりそう考えていない
■そう考えていない

※調査概要
名称：経営層600人に聞く最新セキュリティ対策調査
調査対象者：20～59歳の役員・経営者（男女）
サンプル数：600名
調査地域：全国
調査方法：インターネット調査
調査期間：2020年1月24日（金）～2020年1月26日（日）

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

企業におけるセキュリティの種類は2つに分類される

社内セキュリティ



パソコンや社内ネットワークの
セキュリティ

Webセキュリティ



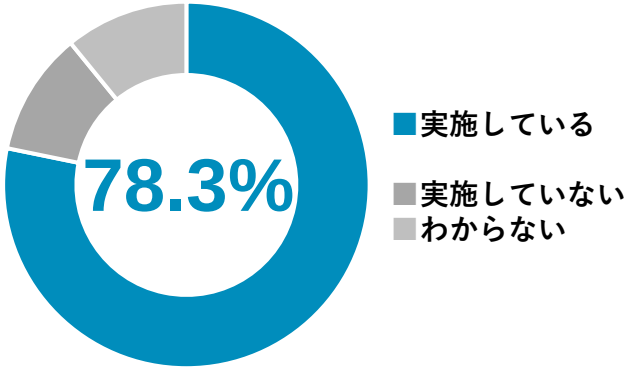
誰もが訪れるWebサイト
などのセキュリティ

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

経営層600人に聞く最新セキュリティ対策調査※ ❷

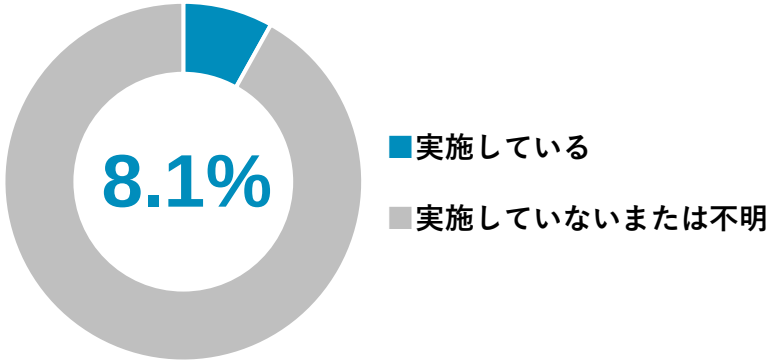
セキュリティ投資を積極的に行う企業は86.7%である一方、WAF導入済み企業はわずか8.1%と、今後の拡大余地が大きい

Q2 セキュリティ対策において「社内セキュリティ」と「Webセキュリティ」をどちらも実施していますか。



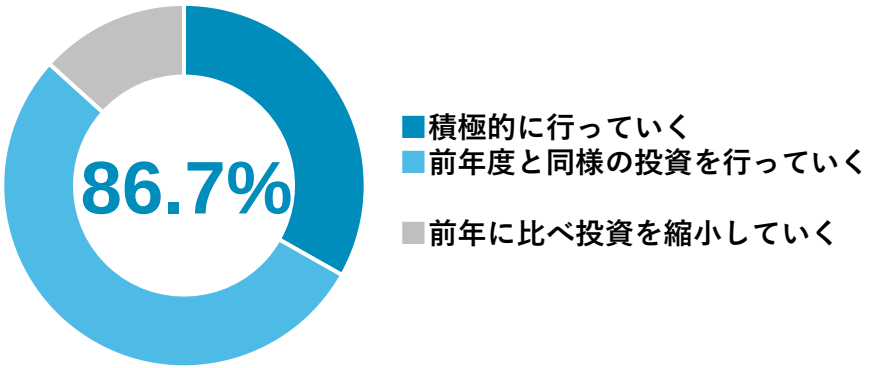
【n=396】

Q3 「Q2」で実施しているを選択した企業の中で、セキュリティ対策において「WAF」を導入していますか。



【n=310】

Q4 2020年、サイバーセキュリティへの投資を前年に比べ積極的に行っていきますか。



【n=600】

※調査概要
名称：経営層600人に聞く最新セキュリティ対策調査
調査対象者：20～59歳の役員・経営者（男女）
サンプル数：600名
調査地域：全国
調査方法：インターネット調査
調査期間：2020年1月24日（金）～2020年1月26日（日）

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

Webサイトへのサイバー攻撃による被害事例

サイバー攻撃は企業の事業活動に様々な影響を与え、個人情報の流出だけでなく、株価の下落や株主代表訴訟に繋がるおそれも



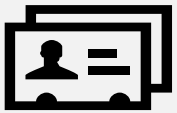
売上機会の損失



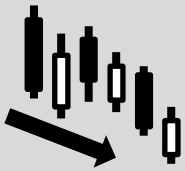
ブランドイメージの毀損



損害賠償費用
(約6.3億円/件※1)



個人情報の流出



株価の下落
(平均10%※2)



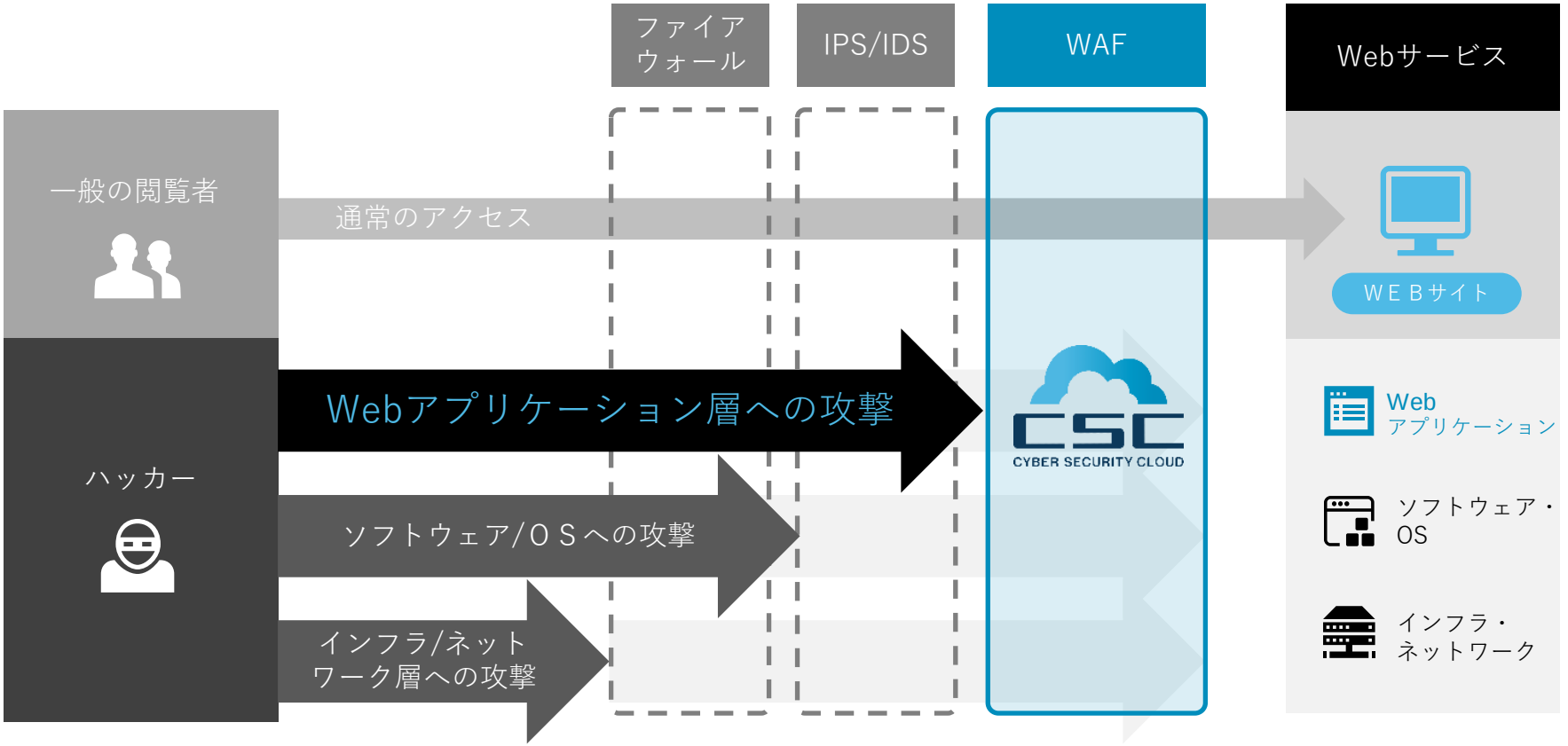
株主代表訴訟

※1 出典：JNSA 2018年 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書
※2 出典：JICI 取締役会で議論するためのサイバーリスクの数値化モデル

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

当社が守る領域

Webセキュリティ領域におけるWAF（Web Application Firewall）とは？

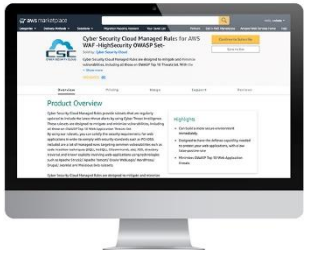


WAFは、「SQLインジェクション」や「XSS」をはじめとした不正侵入による情報漏えいやWebサイト改ざんなどを防ぐファイアウォールのことを意味し、従来のファイアウォールやIPS/IDSでは防ぐ事ができない攻撃にも対応可能。

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

提供する３つのプロダクト

主力商品

	攻撃遮断くん	Waf Charm	AWS WAF Managed Rules
			
サービス説明	外部からのサイバー攻撃を遮断し、個人情報漏洩、改ざん、サービス停止などからWebサイトを守るクラウド型Webセキュリティサービス	Amazon Web Services（AWS）の提供するAWS WAFを利用するお客様に対して、AIによって学習し、AWS WAFのルールを自動運用するサービス	セキュリティ専門のベンダーの提供するAWS WAFのセキュリティルールセット
導入数※ (2020年6月末時点)	**851** 社 (利用企業数)	**272** ユーザー (課金ユーザー数)	**1,102** ユーザー (ユーザー数)

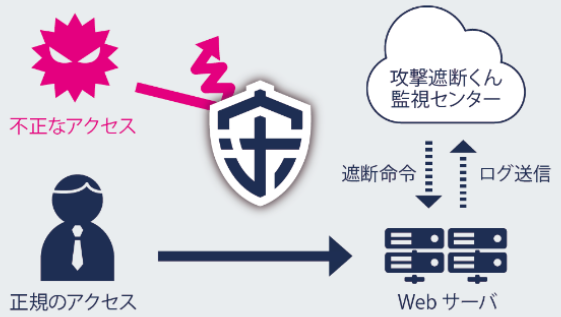
※　それぞれユーザー数を元に算出（当社調べ）。Managed Rulesは下記Active Subscriber数の合計を元に算出
・Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF -API Gateway/Serverless-
・Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF Classic -OWASP Set-
・Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF -HighSecurity OWASP Set-

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

攻撃遮断くんの提供する２つのアーキテクチャ

エージェント連動型

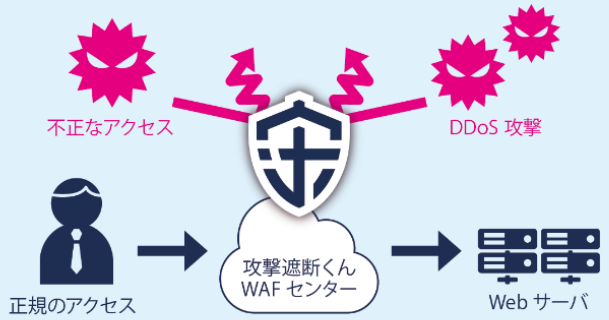
サーバセキュリティタイプ



- クラウド（IaaS）含め多様なサーバに対応
- 障害ポイントの切り分けが容易

DNS 切り替え型

WEB ／ DDoS セキュリティタイプ



- DNSの切り替えのみ
- Webサイトへのリソース負荷がかからない
- DDoS攻撃にも対応

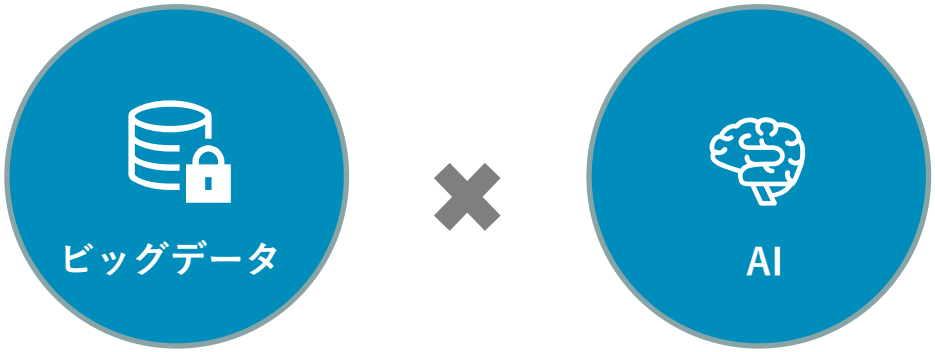
共通

- 専任のセキュリティエンジニアが不要
- 最新の攻撃に対応
- 自動シグネチャ更新

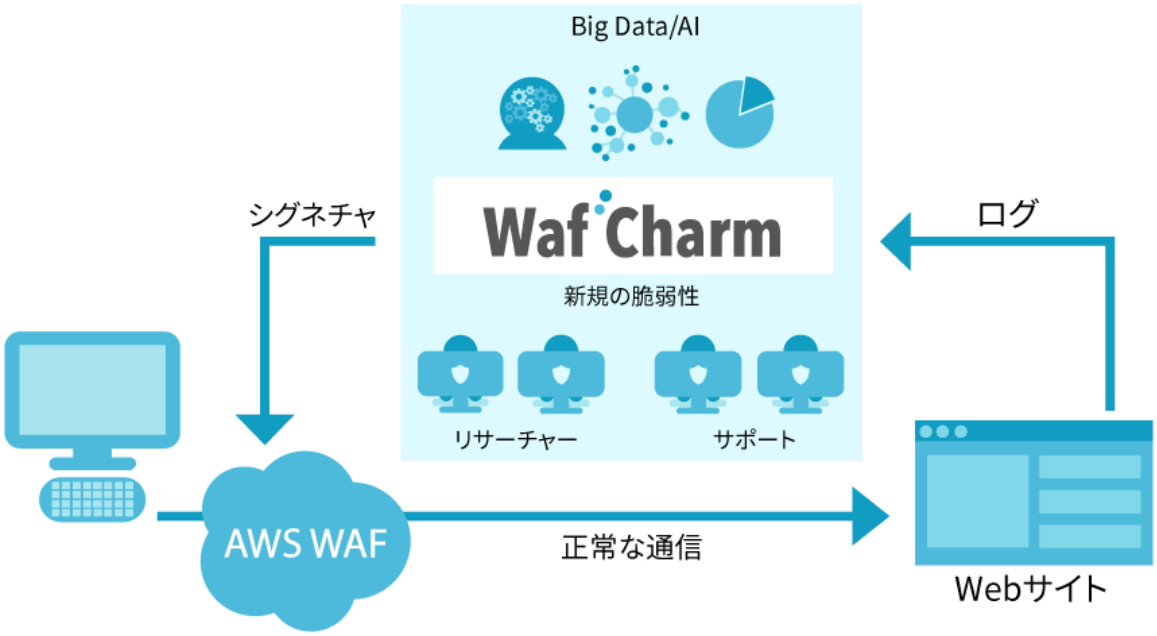
(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

AI×ビッグデータによるAWS WAF自動運用 = WafCharm

12,000サイト以上
の企業情報を
守ってきたデータ



各WEBサイト毎に
ピッタリの防御方法
を判別して自動運用



ストック収益ベースの「SaaS型ビジネスモデル」

攻撃遮断くん売上全体に占めるストック収益の割合



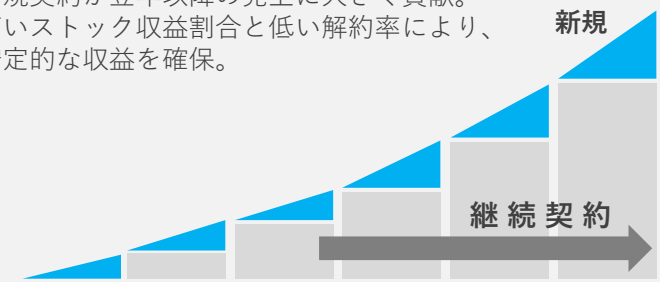
96.7 %

■ストック収益
■その他収益

※「攻撃遮断くん」の売上高における直近1年のMRR（2020年6月）が占める比率

継続課金による安定的な収益

新規契約が翌年以降の売上に大きく貢献。
高いストック収益割合と低い解約率により、
安定的な収益を確保。



高い成長率

50 Technology Fast 50 2019 Japan WINNER Deloitte.

デロイト トウシュ トーマツ リミテッド
日本テクノロジー Fast 50にて、2年連続第10位を受賞

2019年は338.58%の
収益（売上高）成長を記録

低い解約率

解約率
1.15%

MRRチャーンレート
（2019年7月～2020年6月までの12ヶ月平均）

※MRRチャーンレートとは、当月失ったMRRを先月末時点のMRRで除すことで計算される実質解約率。

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

Ⅱ．新型コロナウイルス感染拡大に関して

現状の新型コロナウイルス感染拡大による影響

ストック型のビジネスモデルのため、短期的な景気変動の影響は受けにくいものの、市場環境とともに足元で変化が発生。

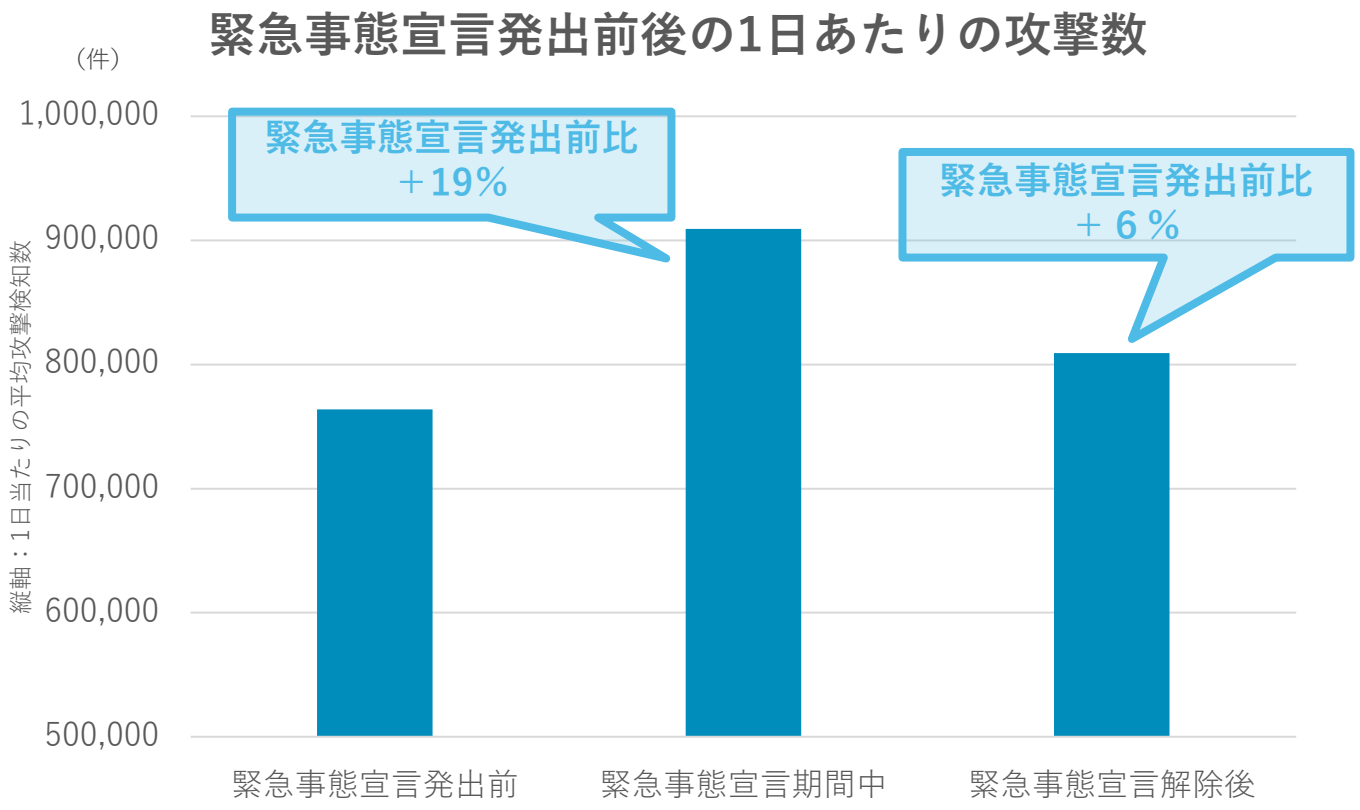
業務運営への影響
• テレワーク環境下での業務運営体制の構築を実施 • 業務オペレーション改善により、サポート電話窓口縮小を解除

業績への影響（短期）		
	ネガティブ要因	ポジティブ要因
既存顧客	コロナウイルスを要因とする業績悪化などにより解約が一部発生するも、Q2の当該解約は4件に留まる	サービスのオンライン化に伴いトラフィック量が増加。一部顧客のアップセルによりARPUが拡大
新規顧客	取引先のテレワーク化に伴い、一部で商談リードタイムの長期化が発生	2020年6月に、単月受注額が過去最高を記録 (2020年7月以降で売上計上)

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

緊急事態宣言前後のサイバー攻撃数

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、サイバー攻撃数が増加傾向。
今後も攻撃数増加が予想され、更なる被害拡大の可能性も。



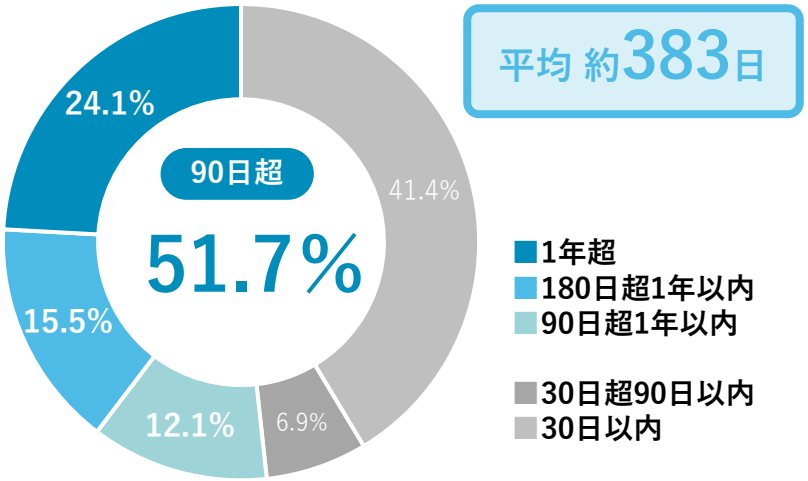
※調査概要
・調査対象期間：2020年1月1日～2020年6月30日
・調査対象：「攻撃遮断くん」、「WafCharm」をご利用中のユーザーアカウント
・調査方法：「攻撃遮断くん」、「WafCharm」で観測した攻撃ログの分析

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

サイバー攻撃から被害発覚・公表までの日数

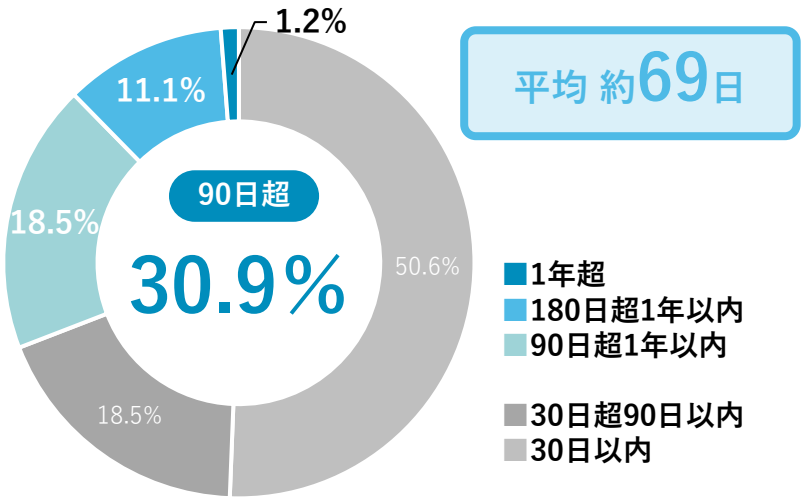
攻撃～発覚、発覚～公表までのタイムラグが明らかに。
それぞれ合計すると平均約452日もの日数を経て公表されている。

攻撃発生から発覚に要した日数



【n=58】

発覚から公表に要した日数



【n=81】

※調査概要
-調査対象期間：2019年1月1日～2020年7月31日
-調査対象：上記期間までに公表された法人・団体における不正アクセスに関する被害規模１千件以上の個人情報流出事案（81件）
-調査方法：サイバーセキュリティクラウド調べ

- 50%以上がサイバー攻撃を受けてから被害発覚までに90日超を要している
- 24%以上が1年超も被害が発覚していない

- 30%以上が被害発覚から公表までに90日超を要している
- 一方で50%は30日以内に公表している

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

中長期的での成長可能性に関して

テレワーク推進により、事業活動をオンライン化する企業の増加

Webサービスの増加や
テレワーク推進により
サイバー攻撃が拡大傾向に

攻撃の発生から発覚、
公表までに生じている
タイムラグ（平均約452日）

今後も被害事例が多数公表され、更なるニーズが顕在化する見込み
当該ニーズを獲得すべく、人材及び広告宣伝への投資を強化していく

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

Ⅲ．２０２０年１２月期 第２四半期 決算概要

エグゼクティブ・サマリー❶　決算数値

P/L	売上高（Q2実績）	前年同四半期比＋50.2％増の543百万円
P/L	営業利益（Q2実績）	前年同四半期比＋43.8％増の104百万円
KPI	ARR (Annual Recurring Revenue)※１	前年同四半期比＋46.8％増の11.2 億円

※１：対象月の月末時点におけるMRR を12倍することで年額に換算して算出。
MRRはサブスクリプション型モデルにおけるMonthly Recurring Revenueの略で、既存顧客から毎月継続的に得られる収益の合計のこと。

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

エグゼクティブ・サマリー❷　ビジネス進捗

ビジネス進捗

コロナ禍で
サイバー攻撃が増加

緊急事態宣言前後でサイバー攻撃が増加

コロナウイルス感染拡大により、サイバー攻撃が増加。
営業活動にも一部影響があるものの、
2020年6月の受注は**過去最高額**を記録。

新規ビジネス

当社保有のビッグデータの活用に向けた提携

保険領域とマーケティング領域における データ活用に向けた共同研究を開始

攻撃遮断くん及びWafCharmの提供により得たサイバー攻撃関連**データの活用**に向けたビジネスの可能性
保険領域は**損害保険ジャパン株式会社**等と4社共同研究

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

業績の概況

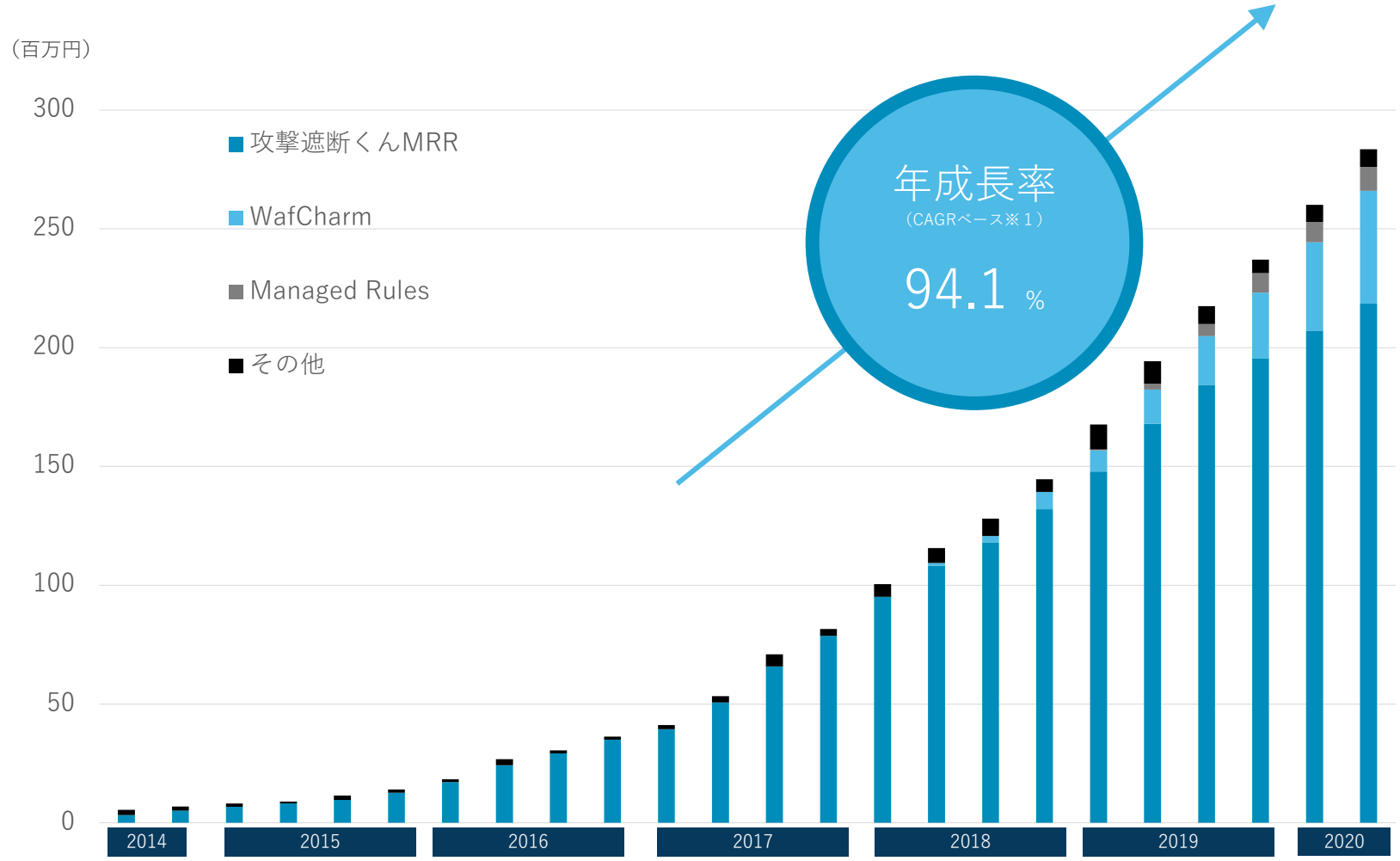
WafCharm及びManaged Rulesが大きく成長し、前年同四半期比で+50.2%の増収、 営業利益は+43.8%の増益

（百万円）	2019年12月期 Q2実績（前期）	2020年12月期 Q2実績（当期）	前年同期比	2020年12月期 通期予想	進捗率
売上高	**361**	**543**	**+50.2%**	**1,126**	**48.3%**
攻撃遮断くん	335	440	+31.0%	952	46.2%
WafCharm	23	84	+261.8%	143	59.1%
Managed Rules	2	18	+600.8%	30	61.3%
売上総利益	**258**	**363**	**+40.5%**	**745**	**48.7%**
営業利益	**72**	**104**	**+43.8%**	**179**	**58.3%**
営業利益率	**20.1%**	**19.2%**	**-0.9pt**	**15.9%**	**-**
経常利益	**73**	**93**	**+26.9%**	**166**	**56.0%**
四半期純利益	**61**	**78**	**+27.1%**	**140**	**55.5%**

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

売上高の推移（四半期）

ストック収益が売上高の大部分を占め、高成長を維持

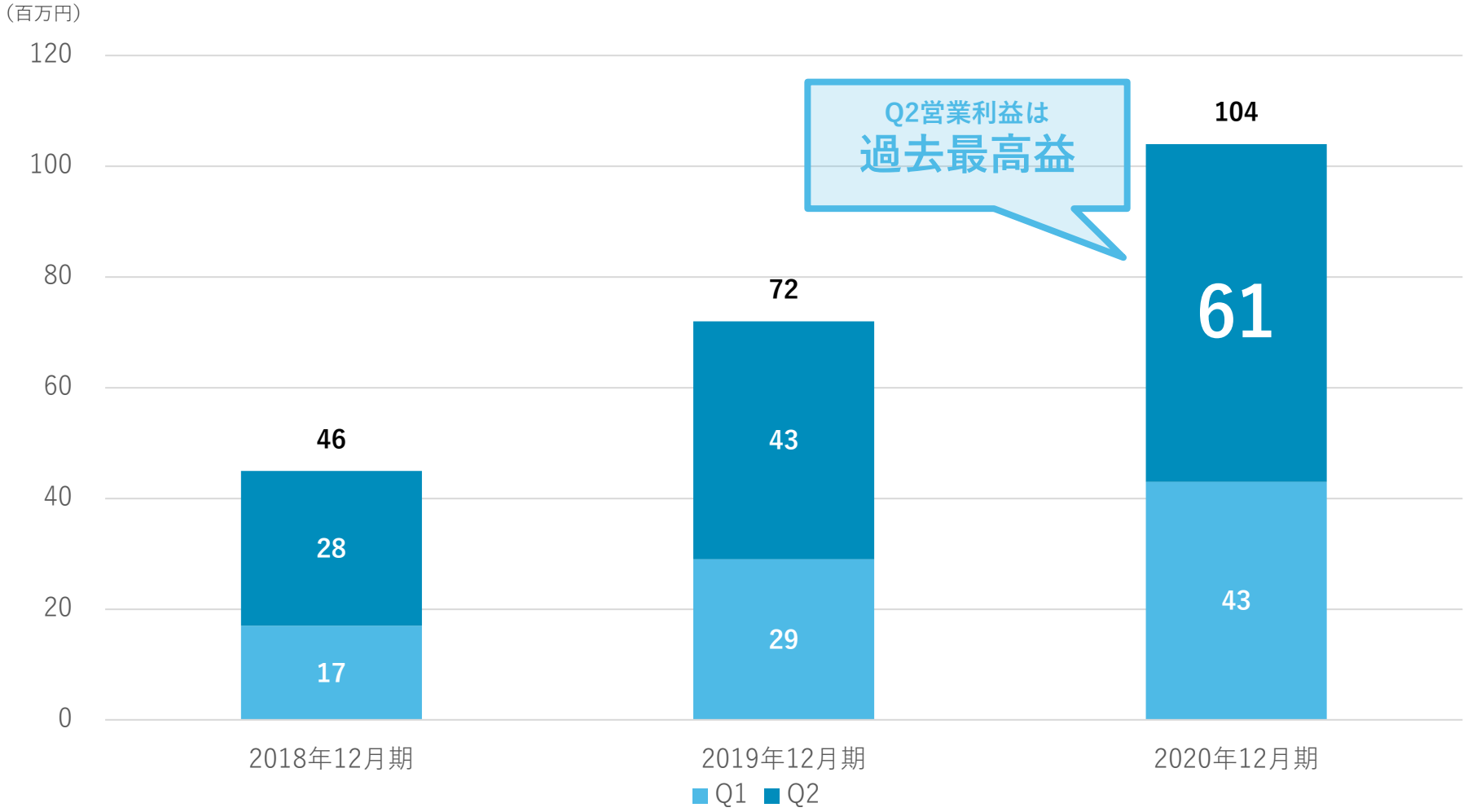


※1　2016年から2019年の売上高の年平均成長率
※2　2014年~2016年については未監査

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

営業利益の推移

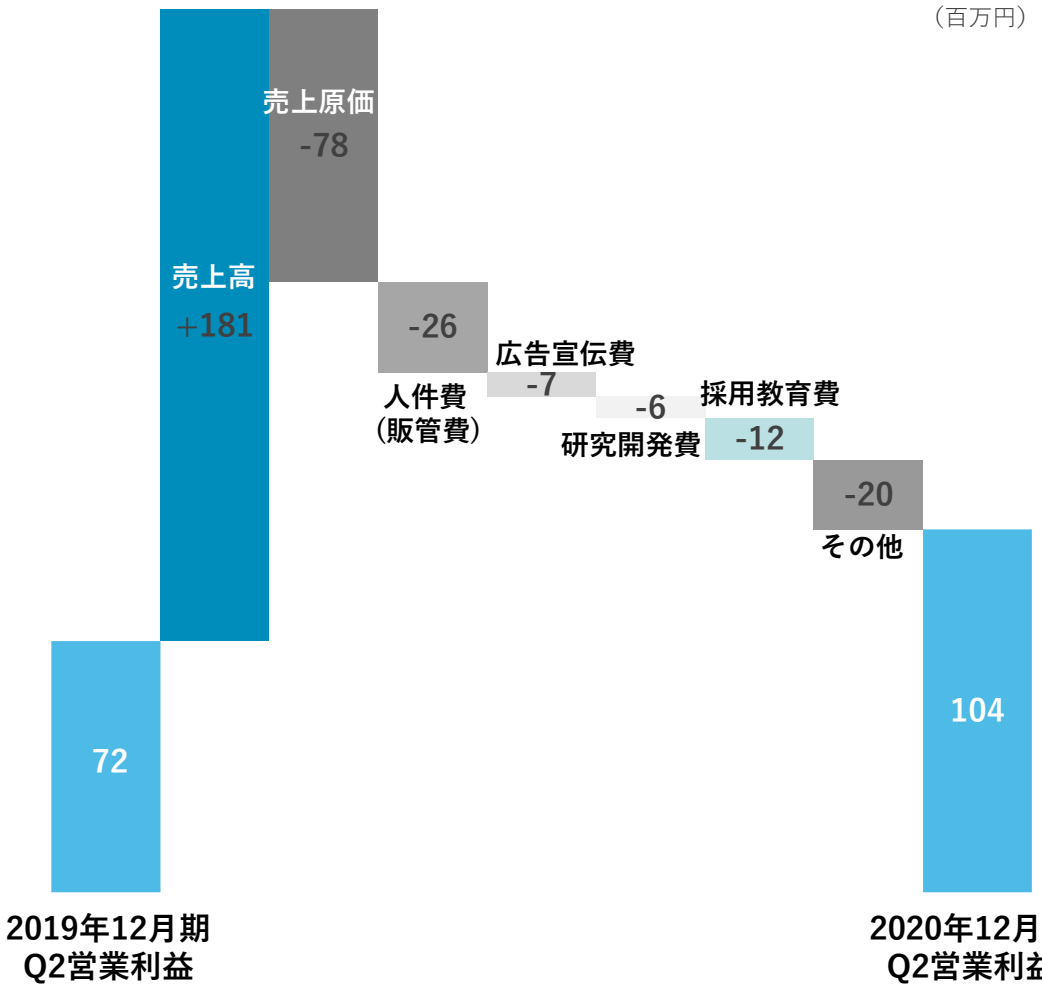
順調に利益を積み重ね、
2020年Q2営業利益は過去最高益の61百万円で着地



(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

営業利益の増減要因分析

今後の売上UPを見込んだサーバーコスト増加と採用強化により、短期的には営業利益率低下。中長期の成長のための投資を継続。



売上高
- 新規受注によるMRRの増加
- 1%前後の低い解約率を維持

売上原価
- 売上増加に伴うサーバーコストの増加
- DDoSセキュリティタイプのアップグレードに伴うサーバーコストの増加
  →今後の売上高UPを見込む。
- 人員増強による人件費の増加

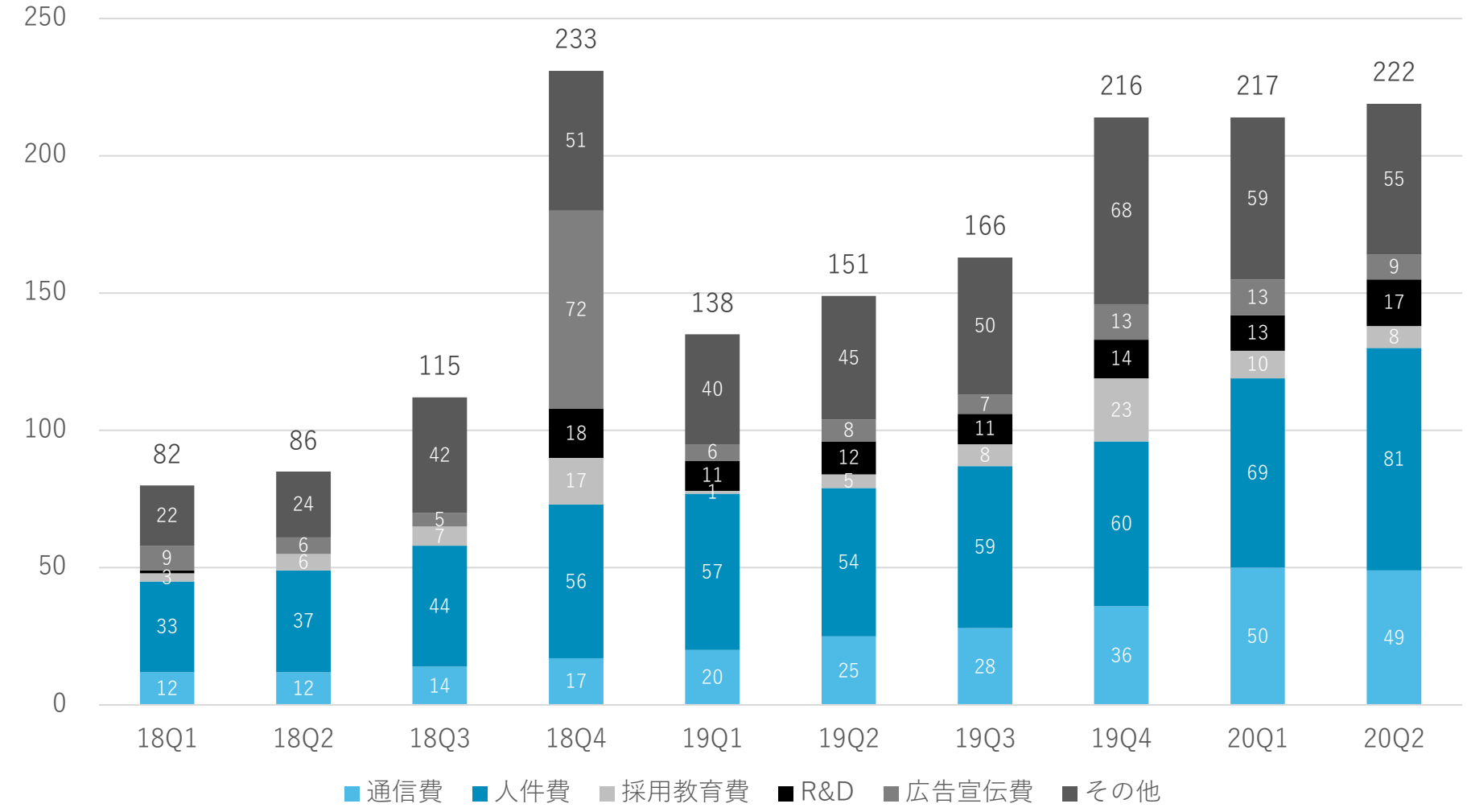
販売費及び一般管理費
- 人員増強による人件費・採用教育費増加
- 広告宣伝費の増加

営業利益
- 営業利益率は20.1%→19.2%へと微減
- 中長期の成長のための投資を継続していく

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

営業費用（売上原価・販売費及び一般管理費）の推移

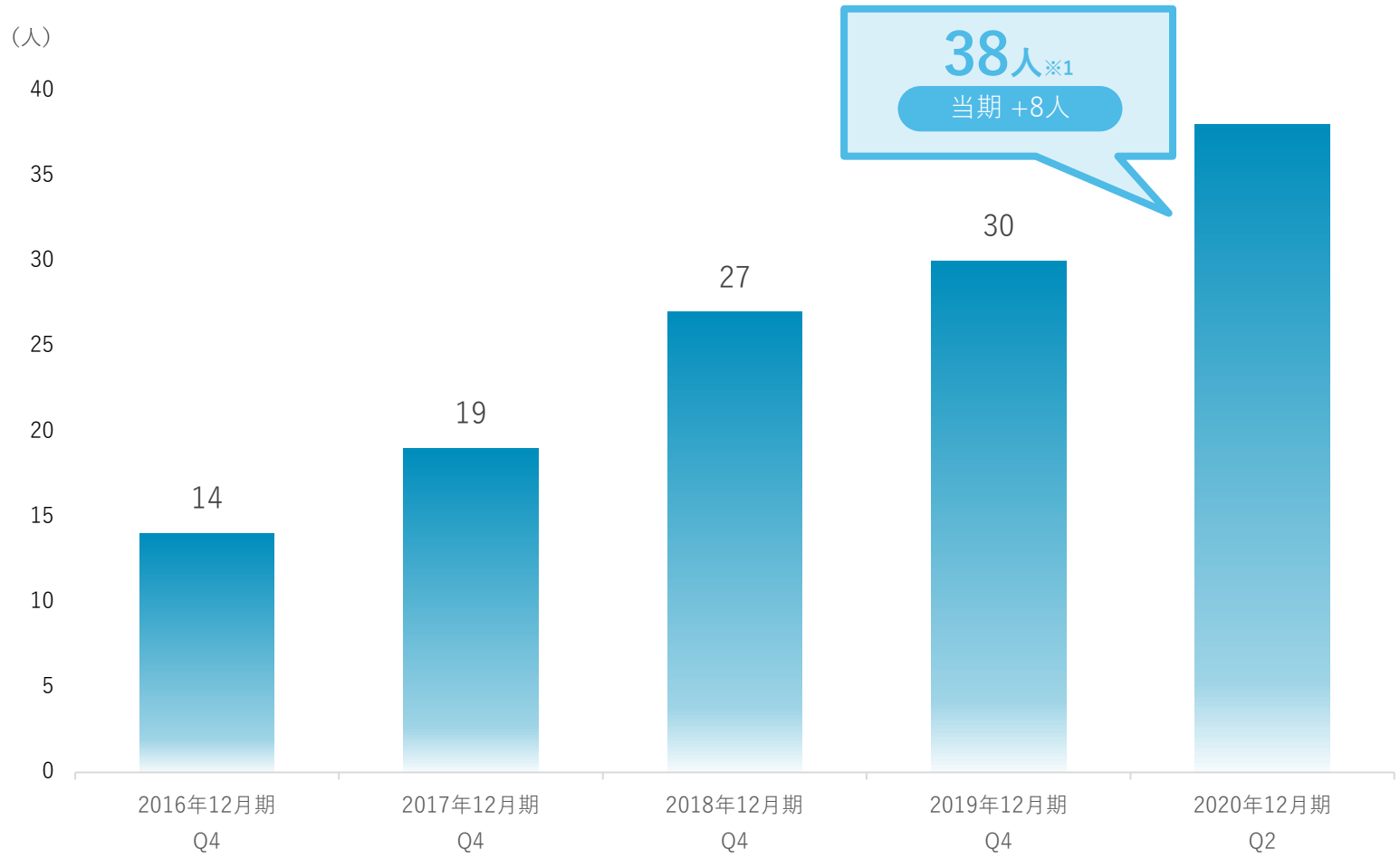
採用に伴い人件費は増加傾向にあるものの
営業費用合計は2020年Q1から+2.4%程度の微増にとどまる



(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

従業員数の推移

エンジニア及び営業人員を拡充し、採用計画は順調に推移。
今後の成長に向けて更なる増員を予定。



※1　2020年6月末時点の従業員数

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

Ⅳ. サービス別実績

攻撃遮断くん主要KPI

利用企業数が順調に拡大
高単価プランの受注拡大によりARPUも前年同期比+8.3%と拡大

	2019年12月期 Q2実績（前期）	2020年12月期 Q2実績（当期）	前年同期比
ARR（百万円）※1	684	874	+27.9%
利用企業数（社）	721	851	+18.0%
ARPU（千円）※2	948	1,027	+8.3%
解約率（%）※3	1.15%	1.15%	±0.0 pt

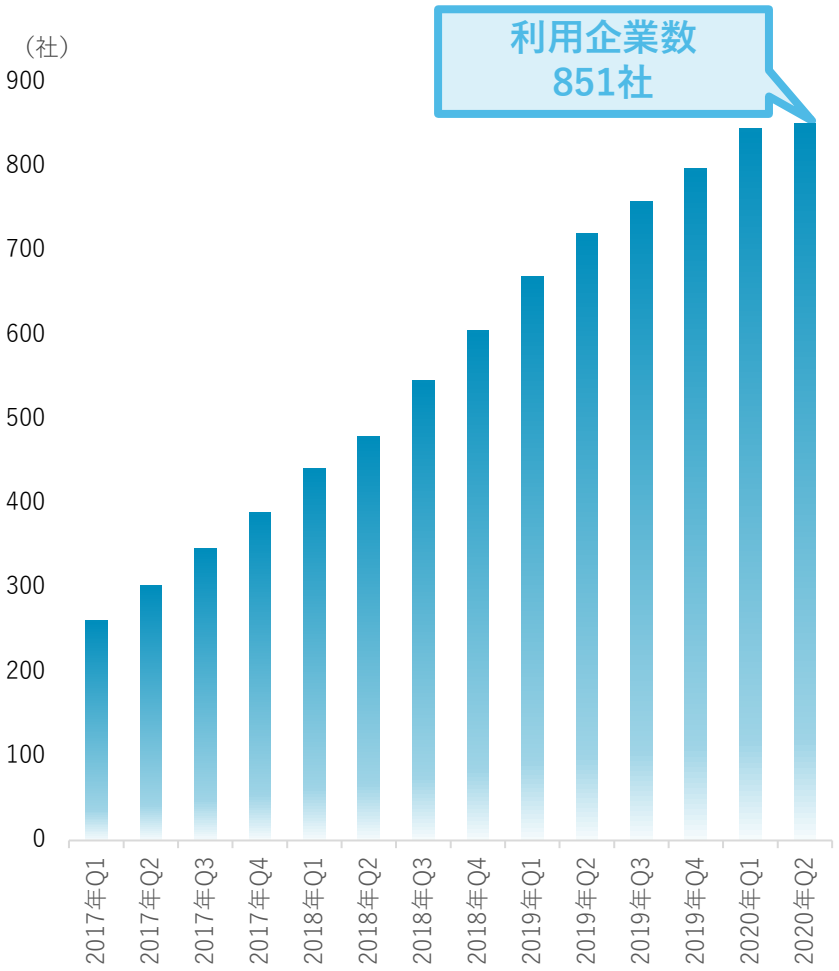
※1　対象月の月末時点におけるMRR を12倍することで年額に換算して算出。
MRRはサブスクリプション型モデルにおけるMonthly Recurring Revenueの略で、既存顧客から毎月継続的に得られる収益の合計のこと。
※2　Average Revenue Per Userの略語。１社当たりの年間平均売上金額
※3　MRRチャーンレートの直近12ヶ月平均をもとに作成。MRRチャーンレートとは、当月失ったMRRを先月末時点のMRRで除すことで計算される実質解約率。

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

順調に拡大してく主力製品の攻撃遮断くん

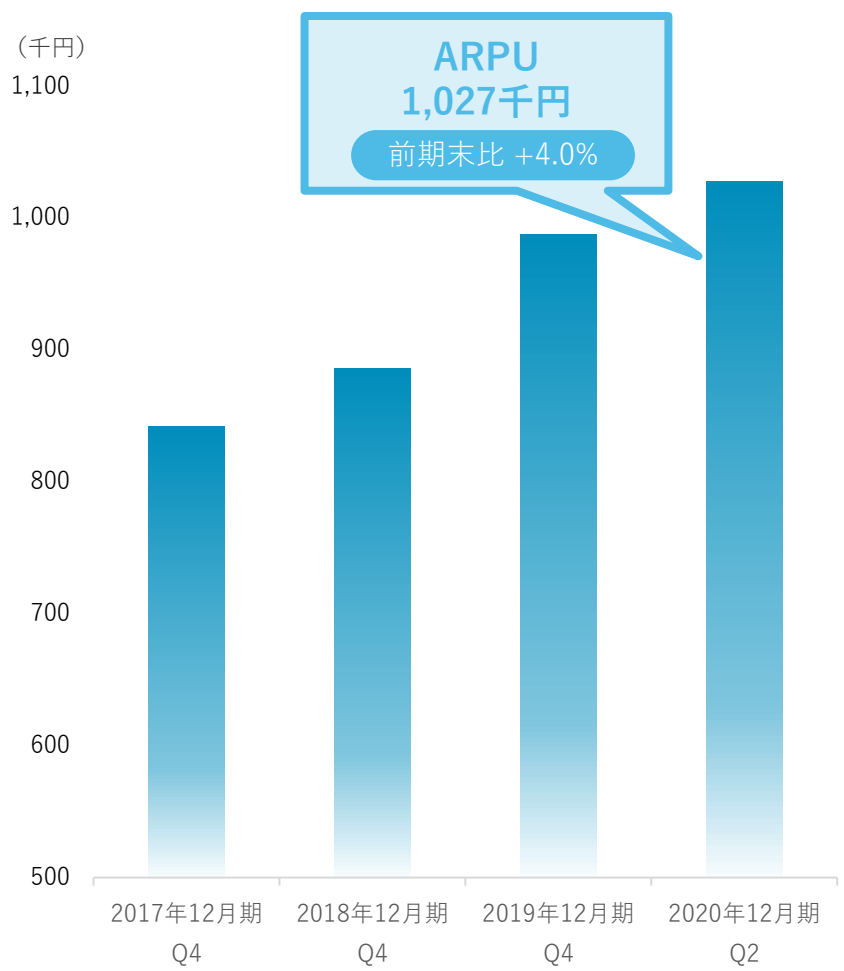
高単価プラン受注とアップセルにより、ARPUが毎期大きく増加

攻撃遮断くん利用企業数※1



※1　2020年6月末時点のエンドユーザー数を元に算出（当社調べ）

ARPUの推移※2

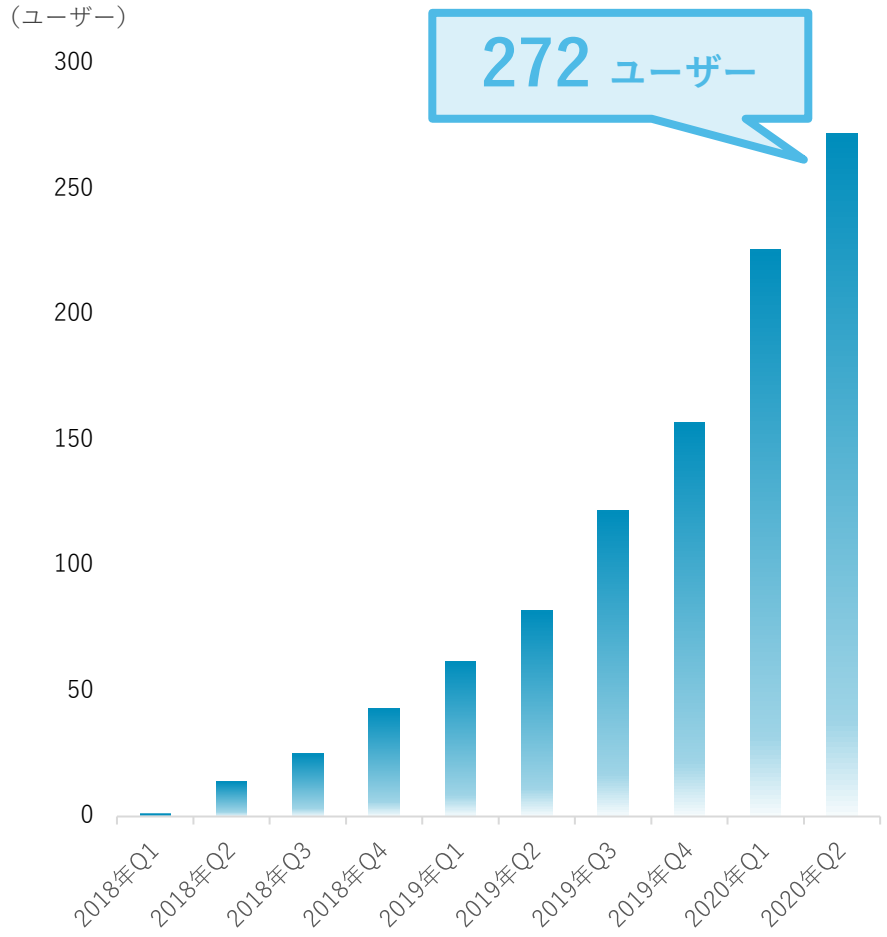


※2　Average Revenue Per Userの略語。１社当たりの年間平均売上金額

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

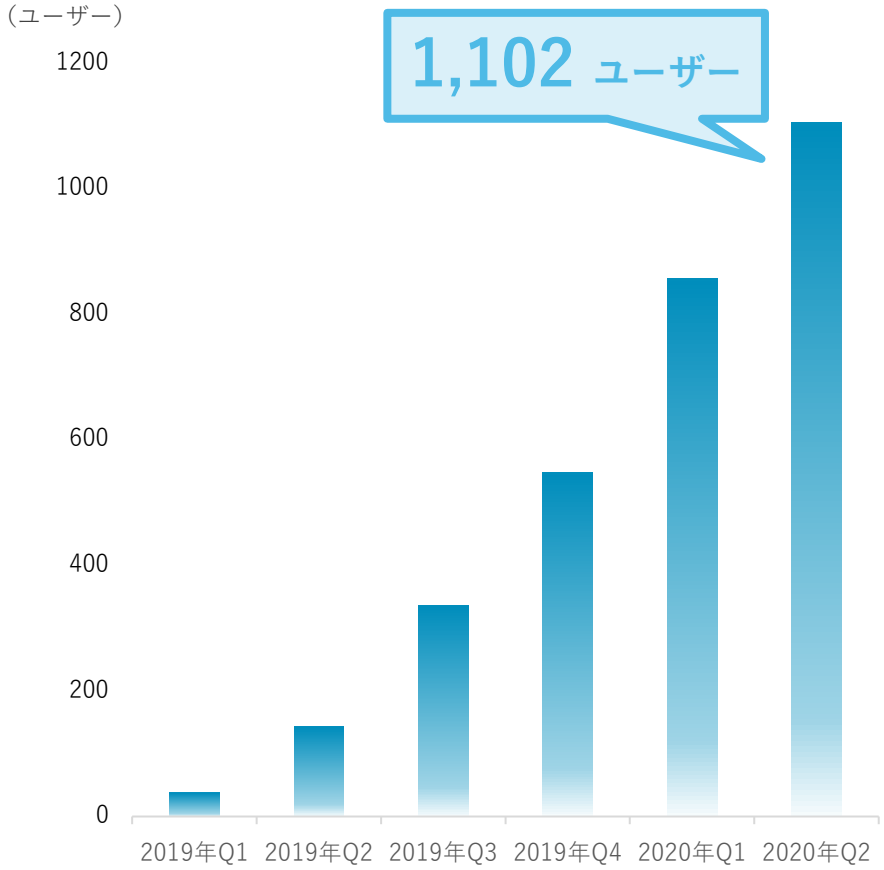
AWSユーザー向けプロダクトの高い成長率

WafCharm課金ユーザー数※1



※1　2020年6月末時点のエンドユーザー数を元に算出（当社調べ）

Managed Rulesユーザー数※2

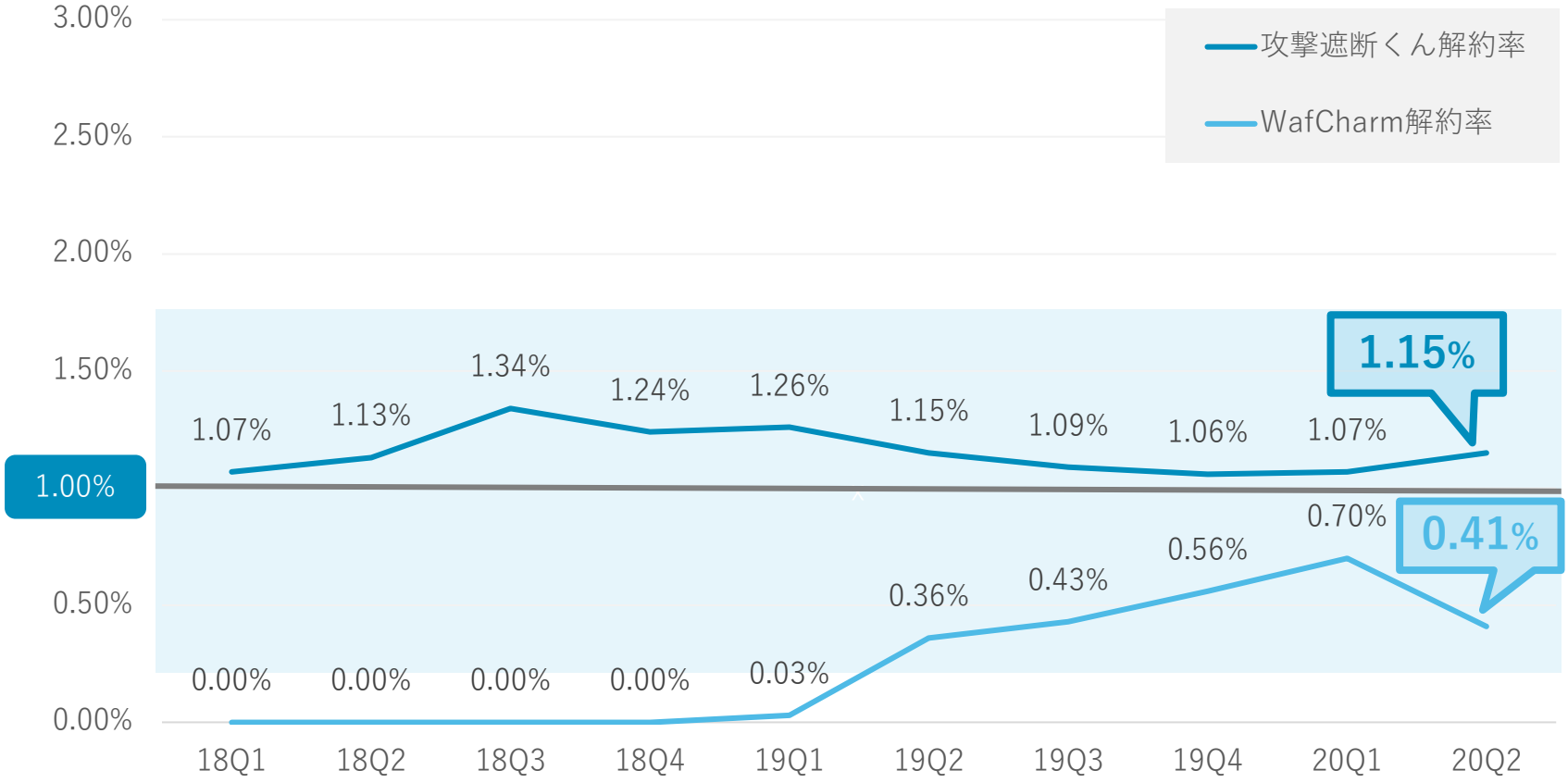


※2　2020年6月末時点の下記Active Subscriber数の合計を元に算出（当社調べ）
・Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF -API Gateway/Serverless-
・Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF Classic -OWASP Set-
・Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF -HighSecurity OWASP Set-

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

平均月次解約率

攻撃遮断くんは1%前半、WafCharmは1%未満と低い水準で推移
今後更なる解約率低下を目指す

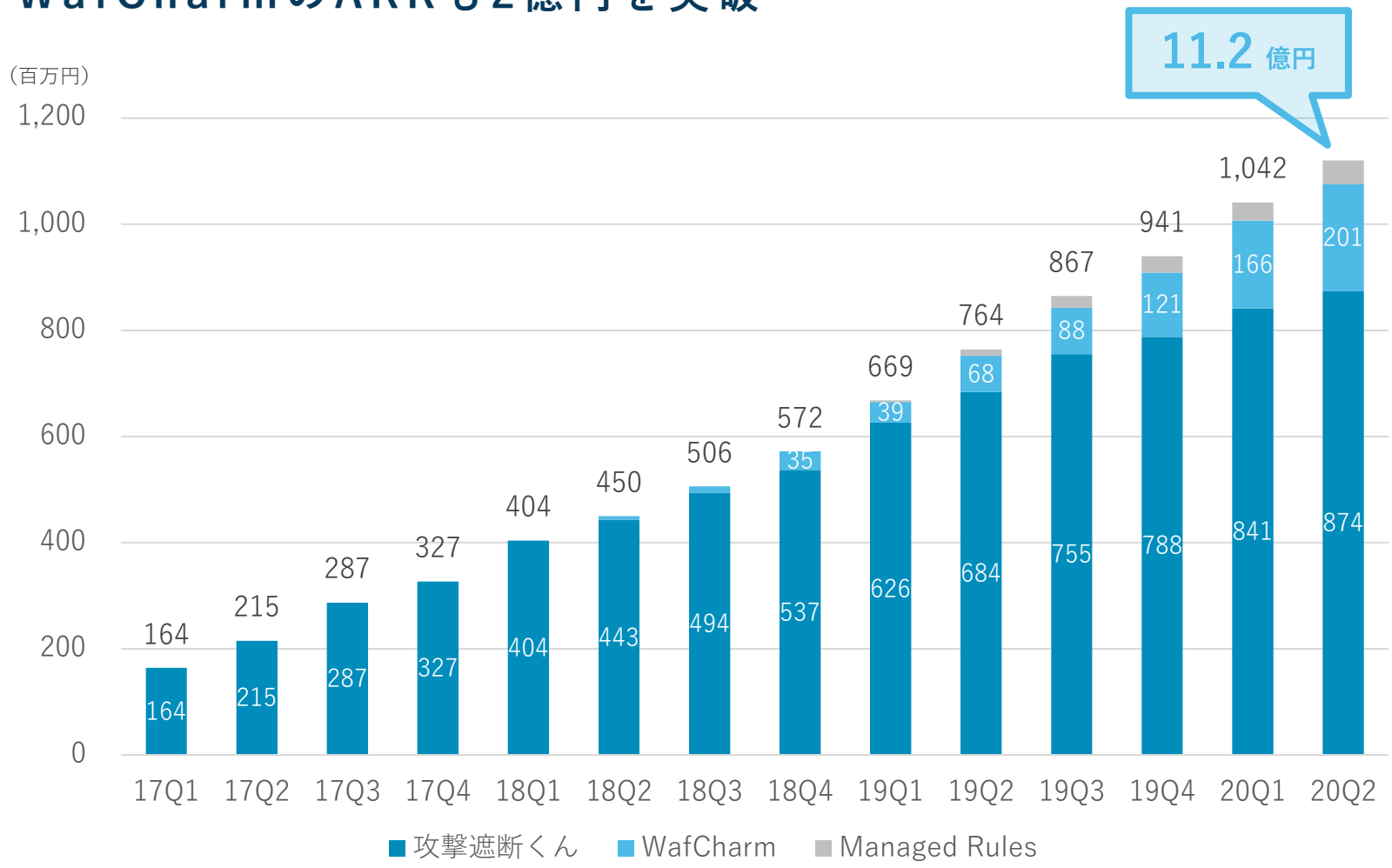


※「攻撃遮断くん」及び「WafCharm」におけるMRRチャーンレートの直近12ヶ月平均をもとに作成。
MRRチャーンレートとは、当月失ったMRRを先月末時点のMRRで除すことで計算される実質解約率。

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

ARRの推移

全社ARRは前年同四半期比＋46.8％増の11.2億円まで拡大
WafCharmのARRも2億円を突破



(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

Ⅴ. 今後の成長戦略

成長実現における３つの戦略軸

テクノロジー
戦略

・攻撃手法の研究
・R&D
・AI

プロダクト
戦略

・製品開発力
・品質
・ビッグデータ

マーケット
戦略

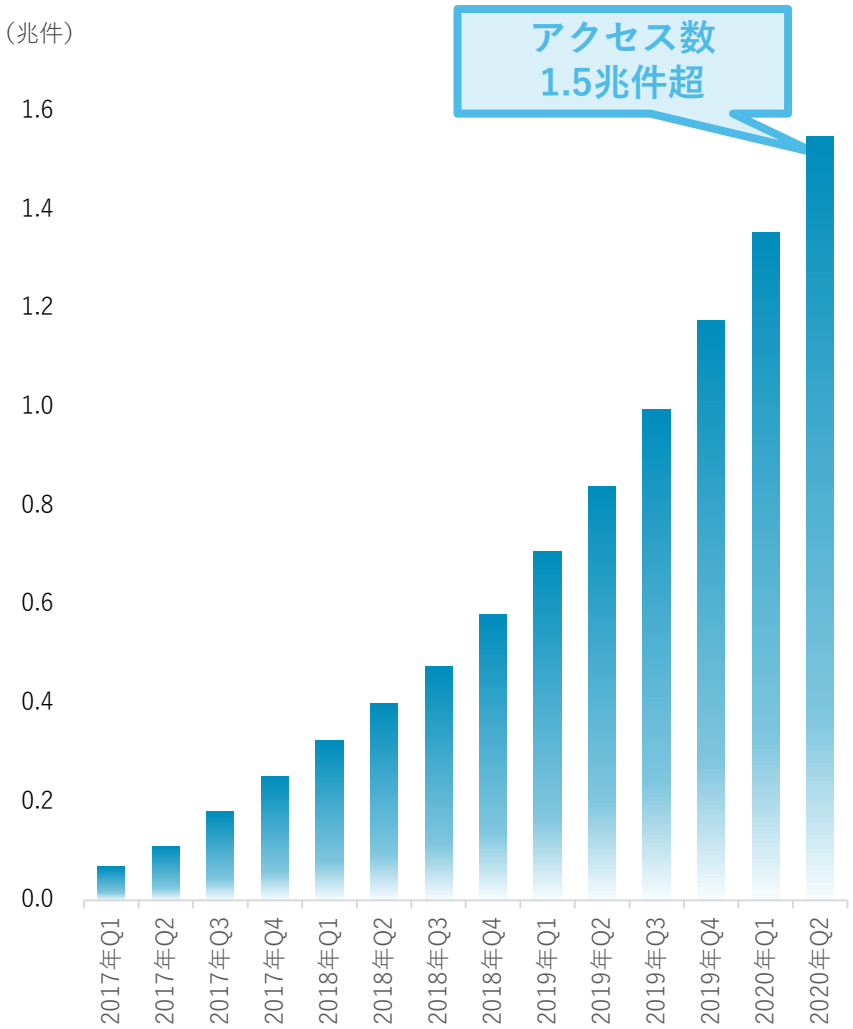
・サイバーセキュリティ
・グローバル

SaaS（月額課金）型モデル

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

テクノロジー戦略 ～AIとビッグデータの活用可能性～

当社の保有する累計アクセス数※1



※1　2020年6月末時点の当社保有累計ログ数を元に算出（当社調べ）

サイバーセキュリティ領域

- WafCharmのAIエンジンである「WRAO」の自動運用に活用
- 未知の攻撃の発見や見逃していた攻撃への対応を実現するAIエンジン「Cyneural」に活用

保険領域

損害保険ジャパン株式会社、
ＳＯＭＰＯリスクマネジメント株式会社、
株式会社フィナンシャル・エージェンシー
との共同研究により、新たな保険商品および
関連ソリューションの開発を目指す

マーケティング領域

株式会社Macbee Planetとの共同研究により、
サイバーセキュリティ機能を搭載したマーケ
ティングサービスの開発や、Web接客に
おいて不正なアクセスを排除しデータ分析精度
を向上させるサービス開発などを目指す

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

プロダクト戦略 ～AWS以外のプラットフォームへ～

AIエンジンWRAO（ラオ）を活用したビジネスの可能性

Waf Charm

AWS WAFの自動運用サービス導入ユーザー数 ・・・ 国内 No.1※



Amazon Web Services | AWS

2017年12月～



Microsoft | Azure

2020年中（予定）

早ければ、2020年中
リリース予定

その他のクラウド大手

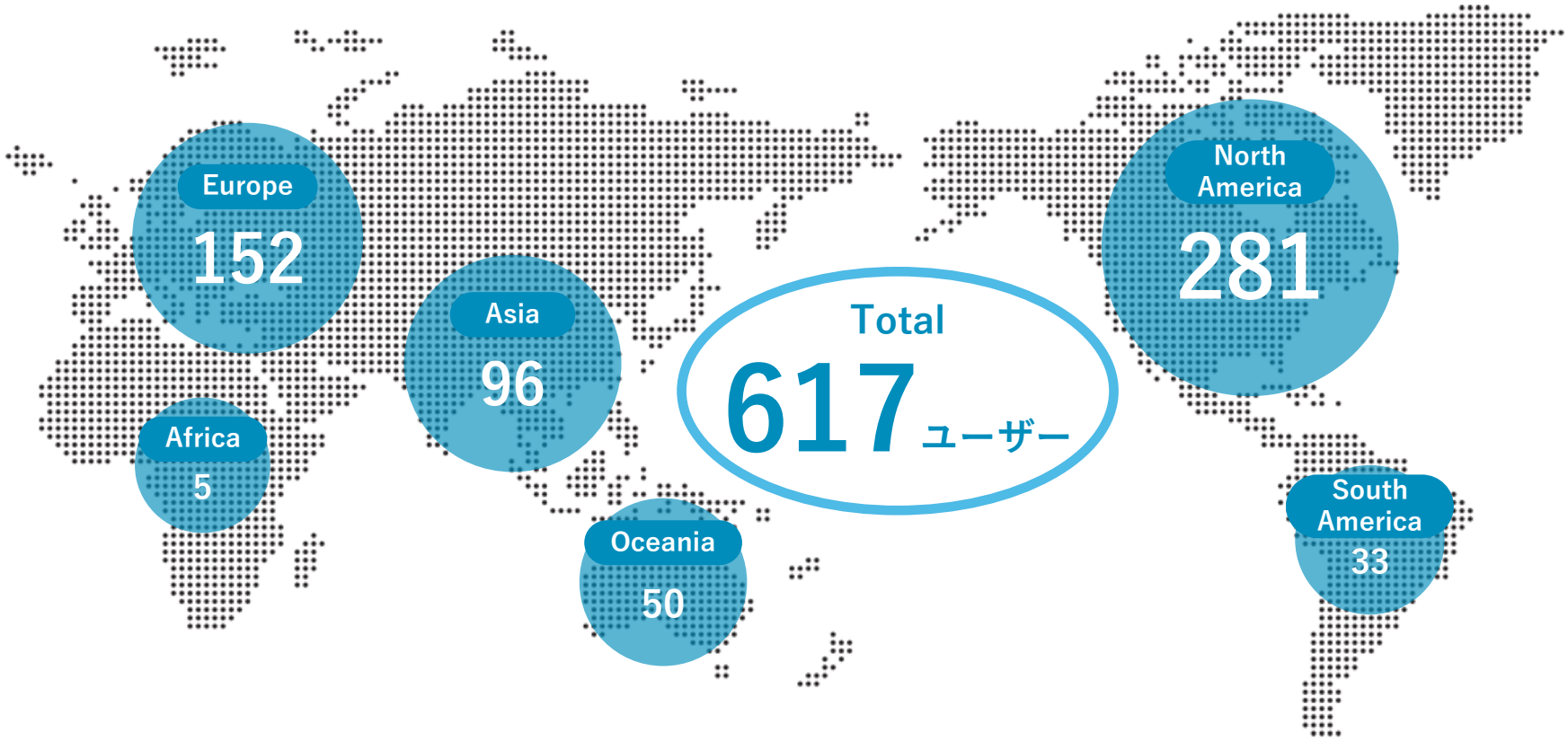
その他のグローバル
プラットフォームへの
新規展開を検討中

※ 日本マーケティングリサーチ機構調べ 調査概要：2020年7月期_実績調査

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

マーケット戦略 ～国外ユーザーの状況～

AWSというプラットフォームを利用し、累計70の国と地域に展開。
国外ユーザー数は合計で600を超える。



※ 2020年6月末時点の当社サービスを利用する国外ユーザー数を元に算出

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

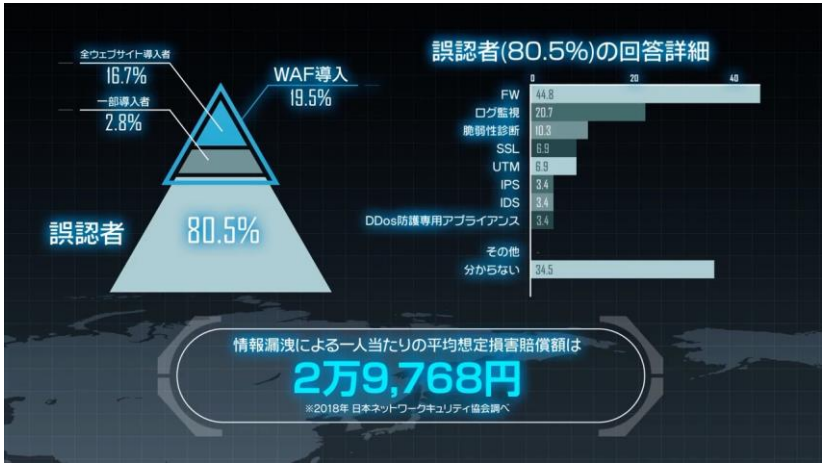
更なる成長を見据え、広告宣伝投資を強化

動画広告の活用により、リード獲得とブランディングを強化
2020年下半期より放映開始を予定









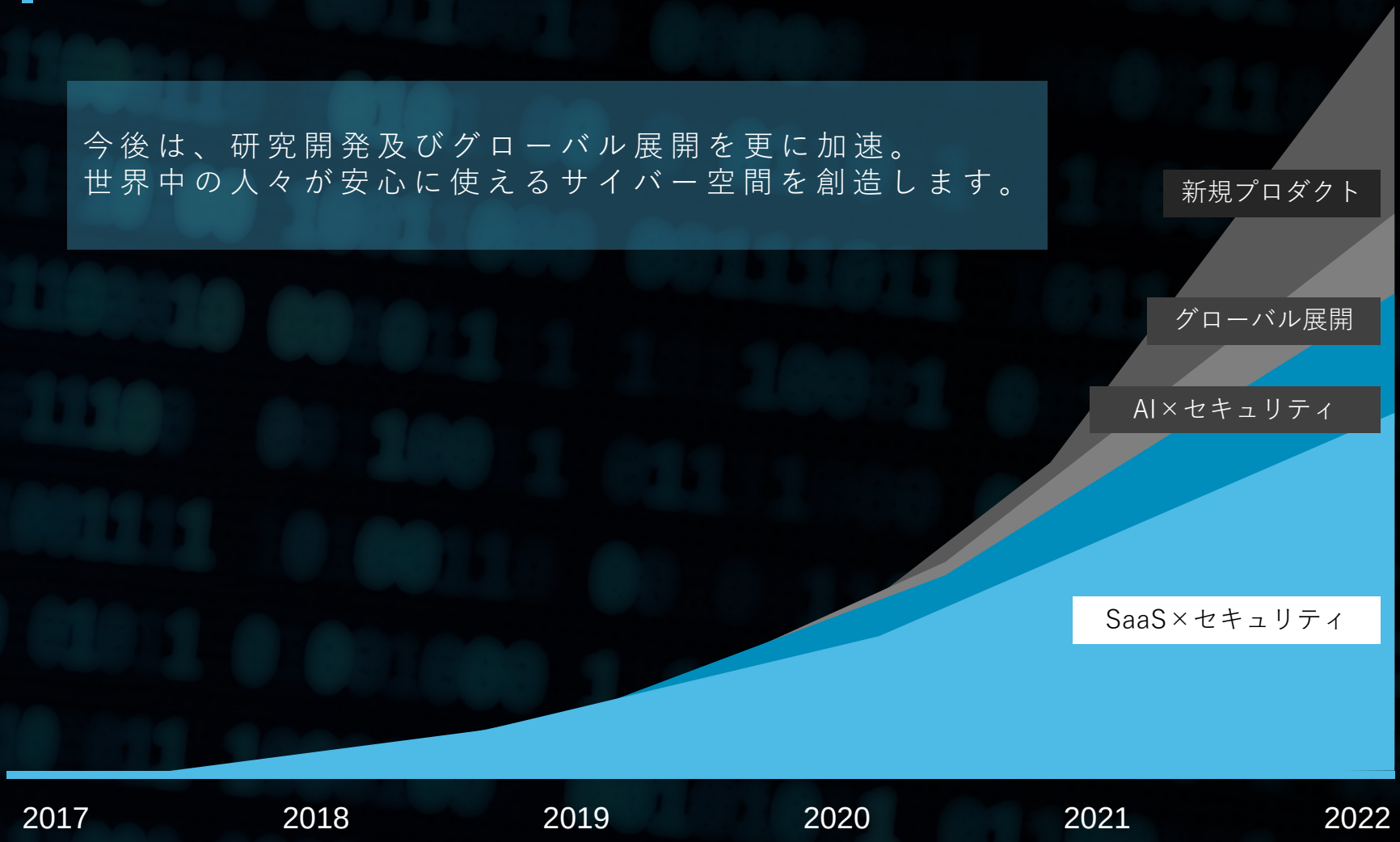
※　イメージ画面キャプチャ

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

今後の成長戦略

事業展開イメージ

今後は、研究開発及びグローバル展開を更に加速。
世界中の人々が安心に使えるサイバー空間を創造します。



(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

Ⅵ. 参考資料

BS実績

（百万円）	2019年12月期 Q4実績（前期）	2020年12月期 Q2実績（当期）	前期末比
流動資産	425	739	173.8%
うち現預金	356	634	177.8%
固定資産	73	73	99.4%
資産合計	498	812	162.9%
流動負債	248	203	81.6%
固定負債	40	12	31.3%
負債合計	288	215	74.6%
純資産	210	596	284.1%
負債純資産合計	498	812	162.9%

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

PL実績

（百万円）	2019年12月期 Q2累計（前期）	2020年12月期 Q2累計（当期）	前年同期比
売上高	361	543	+50.2%
売上原価	103	180	+74.7%
売上総利益	258	363	+40.5%
販売費及び一般管理費	185	258	+39.2%
営業利益	72	104	+43.8%
営業利益率	20.1%	19.2%	-0.9pt
経常利益	73	93	+26.9%
四半期純利益	61	78	+27.1%

(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

会社概要

社　　名	株式会社サイバーセキュリティクラウド				
設　　立	2010年8月11日				
上 場 日	2020年3月26日				
代 表 者	代表取締役社長　大野 暉				
役　　員	取締役CTO	渡辺 洋司	常勤監査役	安田 英介（公認会計士）	
	取締役	倉田 雅史（公認会計士）	社外監査役	村田 育生	
	社外取締役	伊倉 吉宣（弁護士）	社外監査役	泉　健太	
	社外取締役	石坂 芳男			
所 在 地	東京都渋谷区東3－9－19　VORT恵比寿maxim3F				
事業内容	AI 技術を活用したサイバーセキュリティサービスの開発・提供				

エンジニア数



社員全体の約半数※

※ 2020年6月末時点

グローバル

日本・米国の2拠点体制



(C) Cyber Security Cloud , Inc. All Rights Reserved.

免責事項

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。また、本資料発表以降、新しい情報や将来の出来事等があった場合において、当社は本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。